種小便り

今金町立種川小学校通信　平成27年 11月30日発行　第10号

学校教育目標

- ○ 学び合い 高め合う子ども
- ○ みんなと協力し合う子ども
- ○ 美しさを求め 心の豊かな子ども
- ○ たくましく 健康な子ども

子どもたちのがんばりが見えた学芸会

校長　安田彰浩

１１月８日（日）の本校学芸会には、おおぜいの保護者、ご家族の皆様にお出でいただき、心より感謝いたします。

種川へき地保育所の子どもたち、種川小学校の子どもたち、そして卒業生の中学生、高校生となった子どもたち、みんなが一生懸命、歌い・踊り・演じた学芸会でした。

どの子も学芸会の準備や練習に真剣に取り組み、力いっぱい頑張ってくれたおかげで、とっても素晴らしい、温かさと充実感に満ちた学芸会を作り上げることができたと思います。

子どもたちは「協力＝楽しい思い出」というスローガンを掲げ、本番の舞台にのぞみました。多くの人の前に立つことだけでも緊張感や不安感は高まるものですが、友だちが一緒にがんばってくれているという意識が、不安感を吹き飛ばし、のびのびとした発表に繋がったのだと私は思います。

発表会当日まで、練習を重ねるたびに子どもたちの発表の様子や内容は、変わってきました。上手になっていったのですが、その上達を支えたのが、子ども一人一人の発表に対する思いや緊張感、期待感の高まりや強まりだったと思います。

この思い入れがあったからこそ、発表が終わった後の子どもたちの顔に満足感や充実感があふれていたのでしょう。学芸会後の「教えてくれてありがとうございました」という子どもたちから先生へのお礼の言葉に、子どもたちの思いがよく表されていました。

「来年の学芸会が楽しみだ」「次はこんな発表をしたい」という思いの子どもたち、「もっとこうすればよかった」「ここを直せばよかった」という思いの子どもたちもいると思いますが、どちらも次への意欲となります。次への意欲は、うまくいったかどうかにかかわるのではなくて、一生懸命取り組んだから、精一杯がんばったからこそ生まれるものだと思います。

そういう点で、今年の学芸会は発表自体のすばらしさだけではなく、子どもたちが多くのことを学び、次への意欲を高めた学芸会だったと私は思っています。

●拍手や笑顔、笑い声、歓声などで、子どもたちを励まし、勇気づけていただいたことに感謝申し上げますとともに、当日までいろいろな準備のお手伝い、ご協力をいただいた保護者の皆様に重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。

　また、子どもたちの発表に見入っていただいたこと、聞き入っていただいたこと、会場への出入りなども含めてマナーを守って参観していただいたことにもあらためて感謝申し上げます。

●学芸会を終え、子どもたちはまた新たな目標や目的をもって学校生活に取り組んでいます。これからも学芸会と同様に、教職員一同力を合わせて子どもたちへの指導・支援に努めますので、今後とも変わらぬ保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日

メニューは、白米のおにぎり、男爵イモの塩煮（バター）、呉汁、牛乳

19日本校のホールにおいて「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」が行われました。この事業は、毎年、子どもたちに地場産品の美味しさを味わい、生産者や調理してくださる方々へ感謝の気持ちを育てるという目的で開かれています。今回も、農業生産者より提供された、米、イモ、野菜などを使った給食が提供されました。給食がホールに並ぶと、生産者の方々、教育委員会関係者、役場関係者、町女性部、ＰＴＡの方々、そして種川保育所及び本校の児童達、総勢52名が、８つのグループになり会食を楽しみました。

最後の挨拶で、児童会長の５年生女子は、「みなさんもおいしく感じたと思います。それは、きっと農家の人や調理してくださった人たちの気持ちか込められているからだと思います。私は感謝の気持ちでいっぱいです。」と会を締めくくってくれました。

1日(火)～3日(木) 視力検査
2日(水) ブックン来校 外国語(高) 校内研修日
　町Ｐ連理事会
4日(金) ケータイ教室(NTT)
7日(月) 児童会活動
9日(水) 外国語活動(高)
10日(木) ５年交流学習（５・６ｈ）今小
　ＰＴＡ合同会議
11日(金) 参観日・懇談会　貯金日
14日(月) クラブ活動(パソコン)
15日(火) 障害者スポーツ体験
16日(水) ブックン 外国語(高学年) 職員会議
　クリスマス集会
18日(金) ２年生交流学習(３・４ｈ)
20日(日) 町Ｐ連研究大会 9:30 町民Ｃ
21日(月) 発育測定日
23日(水) 天皇誕生日
25日(金) 第２学期終業式

第３学期始業式は１月20日(水)

小規模で恵まれた環境にある本校にお子さんを通わせてみませんか

～本校は小規模特認校として、校区外の児童を受け入れております～

種川小学校特認校制度について、Q＆Aでまとめました。参考になれば幸いです。第２弾です。ご興味・ご関心がありましたら、種川小学校（８２－０５０６）または、今金町教育委員会（８２－３４８８）へ照会下さい。

Q. 学童の利用を考えております。可能でしょうか。

A. はい、大丈夫です。種川小学校児童も今金学童保育所へ通うことができます。その場合、学童保育所までの交通手段については、様々なケースが考えられますので、その都度、今金町教育委員会と相談の上、送迎のスクールバス等、最善の方法を考えていきたいと思います。

Q. 種川小学校に、興味はあるのですが、迷っています。

A. 成長期の大切な６年間を過ごさせる小学校生活です。迷われるのも、もっともなことだと思います。小さな学校には小さな学校の良さが、そして大きな学校には大きな学校の良さがあります。それぞれの良さをじっくりとお考え下さい。そしてお子様にどのような小学校生活を過ごしてもらいたいかを思い描いて、ご判断ください。

いずれにせよ、「小さな学校の良さが今一つ分からないんだ」、あるいは「もっと詳しく知りたいんだ」などという場合は、どうぞご遠慮なく種川小学校までお電話ください。校内見学や授業参観、学校説明の時間などをつくりたいと思います。学校の様子を実際に見ていただくことが一番良いことだと思います。ご連絡いただけることをお待ちしています。

学校紹介DVD配布中

種川小学校小規模特認校推進協議会では、本年度 10 月までの学校の教育活動の様子をまとめたＤＶＤを制作いたしました。(学芸会の様子も盛り込みました) 子どもたちの生き生きと学習活動に励んでいる姿をご覧いただきたいと思います。今金町図書室、今金町教育委員会、種川温泉、種川小学校に準備しておりますので、希望者は、窓口に一声かけていただき、お持ちください。

Q. 町外に住んでいる知人が種川小学校への転入学に興味を持っています。どのようにしたら良いでしょうか。

A. お知り合いの方に、小規模特認校のことをご紹介いただいたのでしょうか。ありがとうございます。

種川小学校の小規模特認校制度は、町内に在住の小学生（新１年生を含む）を対象とした制度で、町外からの転入学ということは考えていません。ただ、町内に在住するおじいさんやおばあさんのお家から通わせるなど、お子様をお引き受けすることができるかもしれない場合もありますので、一度お話を伺わせていただきたいと思います。教育委員会あるいは種川小学校へ是非ご連絡ください。

毎朝の体力づくり

学芸会が終わってから、勉強が始まる前、毎朝、全校児童１４名は体育館に集まって、体力づくりを行っています。今は、縄跳びに挑戦しています。前回し、後ろ回し、あや跳び、交差跳び、二重跳びなど、簡単な技から、少しずつ難しい技へ挑戦していっています。

２年生の女子は、「練習していくと、合格できるものが多いので、とても楽しいです。今は後ろ回し跳び 30 回に挑戦しています。」と話してくれました。

歯みがき指導

種川小学校では、毎日給食後の歯みがき、年３回の養護教諭による歯みがき指導を行っております。

27 日、より良い歯の磨き方を勉強するために、町の歯科衛生士の羽土愛さんに来ていただき、虫歯や歯周病の予防、そして、正しいブラッシングの仕方を学びました。

正しい歯みがきの仕方を覚えて、虫歯予防につながるといいですね。